

Progress

未来へはばたく在学生

東洋大学には学問・研究・スポーツ・ボランティアなど、多彩な領域で活躍する学生がたくさんいます。今回はビジネスコンテストでの銀賞受賞や難関国家試験合格を果たしたファンさんにお話を伺いました。



生命科学研究所 生命科学専攻
博士前期課程1年(環境工学研究室)

ファン クアン フィさん

学生向けビジネスコンテスト
「freebit biz challenge COMPETE 2019」銀賞
水質関係第1種 公害防止管理者等国家試験 合格

自分自身のルーツから生まれた興味・関心。

ベトナムで生まれた私は、貿易関係の仕事をする両親の都合で来日し、5歳から日本で育ちました。子どもながらにベトナムと日本のインフラ整備の差に驚き、そこから環境学に興味を持ちました。同時に、幼い頃から両親の仕事の間近で見てきたことや、実業家である兄の影響で、ビジネスについても自然と関心を持ちました。

「ベトナム」と「日本」という2つのルーツを持つ自分自身の強みと家庭環境から生まれた興味・関心を活かし、大学4年生の時にビジネスコンテストや「公害防止管理者等国家試験」へ挑戦しました。



今、やりたかったことを追求できている。

環境工学研究室で指導教員である角野教授とともに水質改善について研究しています。例えば、母国ベトナムや中国、タイなどを横断するメコン川では浄水施設の開発が進んではいますが、まだまだ十分ではないのが現状です。水質汚染は感染症や食糧問題の原因にもなります。研究室では浄化機器の性能を高めるだけでなく、東南アジアのような地域でも積極的に採用してもらえるように開発コストや運用コストといった実用的な部分にも意識を向けて研究を進めています。

公害防止管理者等国家試験の受験に際して、角野教授に試験対策の指導をしていただき、最も難易度が高い1種を取得することができました。公害防止管理者は、一定の規模の工場などに配置する義務があり、排水の汚染状態などを測定し、管理する業務を担当します。これからの研究にも深く関わることで、将来の選択肢を広げるうえでも、合格できたことはとても嬉しかったですね。



幼少期の経験をもとに挑んだビジネスコンテスト。

将来の目標として起業を考えていたところに、兄から腕試しとして勧められたのがビジネスコンテスト『freebit biz challenge COMPETE 2019』への参加でした。そこで私は、言葉の壁から生まれる困り事を抱える外国人と言語スキルを持った外国人とを繋ぐプラットフォーム「CONNECT」を考案しました。

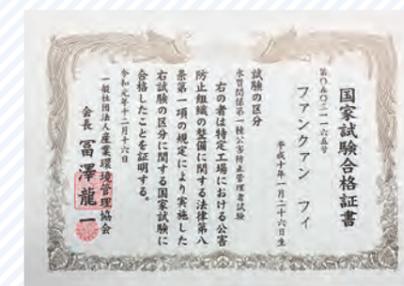
このビジネスモデルに関しては幼少期の経験が深く関わっています。来日後も両親は日本語が話せませんでしたが、私は学生生活の中で自然とベトナム語と日本語を使うバイリンガルになりました。そこで小学生の頃から両親に代わって、役所などの手続きをしていたんです。しかし、子どもには難しい内容が多く、こんなときに助けてくれる人がいれば…と。その後も携帯電話などの契約で同じように日本に来たばかりの知人に助けを求められたこともあり、ビジネスとして成立するのではと考えました。

ビジネスモデル自体は自身の体験をもとに、強く芯があり納得のいくものができたので、興味を高めるプレゼンテーションや、より伝わりやすい資料の見せ方にもこだわりました。コンテストの結果は銀賞でしたが、「ここがゴールではない」と新たな決意が芽生えていました。この結果に満足してしまっただけでは、そこで止まってしまうから。

大学院修了後は企業に就職し、より多くの知識を得て経験を積んで、最終目標として起業することを考えています。将来的には、これまでの研究成果や自分の強みを生かしてベトナムと日本を繋ぐようなビジネスを展開していきたいですね。



ビジネスコンテスト表彰式



公害防止管理者等国家試験合格証書